



虹の会
第51号

2017.4.17発行

満開の桜の後は待ちわびたように、新緑が芽吹き青葉若葉の美しい季節となりました。
5月の声が聞かれると、福岡市民のまつり「博多どんたく 港まつり」が始まります。
どんたくの思い出は色々ですが、街を練り歩く多くの市民と、沿道で一緒に楽しむ市民。
今年も色々な舞台で盛大に催し物が繰り広げられます。
随分暖かくなったとはいえ、体調を崩しやすい季節、お身体に気を付けてお過ごしください。



【 第63回 虹の会の集いから 】

今回の虹の会も和やかな会となりました。参加して下さった方のほとんどが虹の会に5年以上参加されています。認知症が進行し施設に入所されている方も増えて来ていますが、「施設との関わり方」「認知症の進んだ本人への関わり方」などその時期、その時期で介護の悩みは尽きないようです。

「病院（施設）に行ってリハビリしたり、話しかけたりしている。認知症は治る病気じゃないから、このまま進行して最終的には動けなくなるのにリハビリするのに意味はあるのかなって時々思う」という意見がありました。

それに対して「自己満足かもしれないけど、今の状態が少しでも長く続いてほしいからリハビリしている。」「自分が誰か分かっているかはわからないけど、手を握るとニコツとしてくれる。それだけで良いんじゃないかな？」などたくさんの意見・アドバイスがありました。

「これで良いのか？」と日々の介護について一人で悩んでしまう事もある中で、同じ悩みを持つ仲間の言葉はとても力づけられるようです。「虹の会の仲間の絆」を改めて感じました。

感想カードより



- 皆さんの様子を聞き、それぞれ状況の変化があっていると感じました。相方に寄り添って、愛情を注がれていると思いました。ご自身の事も振り返って、自分自身を優しくしてあげたら良いと思います。
- ずいぶん久しぶりに参加致しましたが、とても楽しい一時でした。数年間お会いできなかった方にも会え、皆様10年近くのお知り合いなので、遠慮なく和気藹々とお話できました。
- 自分の年齢が多くなるにつれ、先々の事色々不安になります。せめて、妻を看取ってからと思う。希望が段々と少なくなりますもう少し頑張ろう！
- いつも皆さんの話に感心し、参考になる事や多く感じます。また、自分自身の事で認知症への恐れを強く思います。
- 多くの方と色々話せてよかったです。言ったり、聞いたりすることで元気になります。
これからもずっと続いて同じ病気を理解して語り合えたら良いなあと思っています。

「第8回 全国若年認知症フォーラム東京in・目黒」に参加して

オアシス虹の会 中島 七海



今年度の若年認知症フォーラムは東京の目黒区が主体となり開催されました。

私はフォーラムの開催前日、役員会で会議に出席する為、目黒の「Dカフェラミヨ」に行きました。

カフェの代表の竹内さんは認知症の母親を12年間介護していました。そのお母さんが他界した後、自宅の2階を地域に開放し月2回、カフェを開催しています。日頃から地域に働きかけていた為かフォーラムの開催にあたっての協力体制はすごいものでした。

フォーラム当日は行政、医師会、地域の病院、介護施設などたくさんの協力でパーシモンホール全体を使って若年認知症に特化したイベントが行われました。

厚生労働省 老健局の講話では、新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略)に示された7つの柱の3番目の位置づけで若年認知症の取り組みを各都道府県に実施するよう伝えているとのこと。

基調講演として斉藤正彦先生は「若年認知症を理解しよう」と実話を交えてのお話の中で、「若年認知症本人は私たちが想像できないような不安や困惑、そして恐怖、絶望の中で暮らし、生きている。若年認知症問題は家族の問題である前に、本人の問題である。」わかっているようで支援する私たちも本人を置き去りにすることがあり、ハッとさせられる先生の言葉に本人に対しどれほど、思いをくみ取り寄り添ったケアができていいのか考えさせられました。

平成24年2月、若年認知症サポーター主催による「若年認知症のつどいが」が開催され全国から、23の家族会と支援者組織が参加し、若年認知症特有の課題を議論し、全国へのアピール文を決議しスタートした会は37団体に広がっています。若年認知症施策の改善を「オアシス虹の会」として皆さんの声を届けてきました。

発足を契機に、毎年1回、全体会議を開催し、各団体の1年間の活動報告や、情報交換、などを行い、国や地方行政に対する提言と要望など、本音の議論を展開してきました。全国フォーラムは平成22年の東京を皮切りに開催、第2回は福岡、その後は群馬、奈良、埼玉、滋賀、熊本、そして今回ふたたび東京となり、来年は青森、八戸に決まりました。

地域で若年認知症の取り組みはそれぞれですが、フォーラムを開催することで、若年認知症に関わる医療・福祉・行政・関係組織のネットワークに大きくアピールできています。

本人、家族が尊厳を保ち、安心して暮らせる社会の実現は少しずつですが10年前と比べると目に見えて進んできている気がします。

丁度このフォーラム当日の新聞に【若年認知症 全国で調査】の記事が掲載されていました。

全国実態調査は初めての事です。平成17年から3年かけて患者とその家族1万人の就労状況や生活実態を調査し高齢者の認知症と比べて遅れがちな支援策を検討するのを目的とします。

やっとここまで来ました。虹の会の皆さんと一緒にこれからも前を向いて進んで行きたいと思います。

次回の虹の会は 5月21日(日)です。

※第3週になります